

4月は雑誌月間です

R I 第 2820 地区

THE WEEKLY REPORT

水海道ロータリークラブ



2006 - 2007年度 テーマ

心の中にロータリーを

地域と共に

2006-07 年度 国際ロータリー会長
ウィリアム・ビル・ボイド

次回例会予定

4月18日 振替休会

4月25日 会員卓話

VOL. 44 No.32 (通算No.2115)

2007年4月11日(水)例会プログラム
点鐘

ロータリーソング・四つのテスト

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸報告

幹事報告

会長挨拶

外部卓話

米山奨学生 陸 洪省さん



常総市立水海道小学校 教諭 鈴木忠雄様

2006 - 2007年度 会長 松村仁寿

幹事 青木正弘

創立 1963年9月25日

例会場・例会日

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30 ~ 13:30 0297-22-1251

事務所

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>

4月は雑誌月間です

例会報告 Vol 44 No. 31 (No. 2114) 4月4日(水)晴れ (司会倉持功典副委員長)

本例会での主な事項

会長挨拶 松村仁寿会長
外部卓話 常総市立水海道小学校 教諭 鈴木忠雄様

ピジター

常総市立水海道小学校 教諭 鈴木忠雄様



誕生祝

会員 鈴木 豊会員
配偶者 秋田会員 染谷(正)会員

幹事報告 (青木正弘幹事)

週報受理

例会変更通知受理

地区大会について 4月15日(日) 午前8時 白井石油さん前よりバスが出発します。

会長挨拶 (松村仁寿会長)



皆さん、こんにちは。

鈴木先生ようこそいらっしゃいました。会員一同心より歓迎申し上げます。後程卓話宜しくお願い致します。

「ロータリーの目的は何ですか」という質問に、即座に適切な回答を返す人は殆どいません。

「一人一業種で選ばれた裁量権を持った職業人と専門職種の人が、毎週1回の例会に集まって…」とロータリーの原理原則を説明する人もいます。職業奉仕を説く人、人道主義的な奉仕活動を説明する人もいます。いろいろな角度からロータリーのことを説明しているうちに、質問をした人も、答える人もいい加減くたびれてしまうというのが実際のところではないでしょうか。

英語で同じ質問をしたらどうでしょうか。「What is the object of Rotary?」何人かの人は、この英語の質問を聞いただけで、何らかのヒントを見つけるかも知れません。

「object of Rotary」ロータリアンならば、どこかで聞いたことのある定例句ですね。そうです。「ロータリーの綱領」です。「object of Rotary」を素直に「ロータリーの目的」と訳しておけば何の問題も起こらなかったのに、どこかの愚かな日本人が、格好をつけて、「ロータリーの綱領」と訳してしまったために、「ロータリーの目的」を尋ねられても、即座に答えられない日本人を作ってしまったのです。

「ロータリーの目的」は「ロータリーの綱領」であるという事実を再確認しながら、「ロータリーの綱領」すなわち「ロータリーの目的」がどのように変遷して現在に至ったのかということ、検証してみたいと思います。以下、本文中では「ロータリーの綱領」という言葉は使わず「ロータリーの目的」に統一します。

法さえ犯さなければ、如何なる手段を駆使しようとも、大金を手中にした者が成功者としてもてはやされる、極端ともいえる自由主義経済の下でロータリーは出発しました。大都会で事業を営む実業家にとっては、周囲にいる同業者はすべてライバルであり、僅かな隙でも見せようものならば、寄って集って引きずり落とされる過酷な競争社会の中では、誰一人として信用できる人はなく、孤独感といつこの自由競争の落伍者になるのかという恐怖感に苛まれていました。そんな中であって、胸襟を開いて心から打ち溶け合っただんなことでも語り合える友人を得るために創られたのがロータリークラブです。

従って、ロータリー創立当初の最も重要な目的は会員同士の親睦を深めることでした。ロータリーの一

4月は雑誌月間です

人一業種制に基づく職業分類制度は、親睦を阻害する要素となる同業者を排除するために設けられた制度であり、やがてこの異業種の組織を利用して、お互いの事業を活用した物質的相互扶助によって事業を発展させる方策がとられるようになりました。

1906年1月、ポール・ハリス、マックス・ウルフ、チャールズ・ニュートンによってシカゴ・クラブの最初の定款が起草された時点では、まだ「ロータリーの目的」は存在しておらず、僅か二箇条に纏められた定款そのものが「ロータリーの目的」を表わしていました。

外部卓話 「金管バンド指導を通して」 常総市立水海道小学校 教諭 鈴木忠雄様 はじめに



マーチングバンドとは、演奏しながら様々隊形をつくる「総合芸術」といわれています。元々行進が中心であり、アメリカに伝わってフットボールのハーフタイムショーに用いられ、現在のようなスタイルとなったといわれています。現在アメリカでは「DCI(Durm corp International)」という世界大会が行われており、日本からも沢山の青年がチャレンジしています。同様に日本でも数々の大きな大会が開催されています。

水海道小学校は3年前から現在のマーチングバンド活動に変更し、3年連続して全国大会出場、昨年・昨年前と2年連続日本一の成績を収めています。

音楽の多種多様性

音楽には様々なジャンルが存在します。軽快なマーチから子守唄……音楽は生活の中でも必要不可欠なものであり、人生を豊かにするものでもあります。「聴く」だけでなく、「演奏する」ことでより音楽の世界を広げる事ができます。

音楽とマーチングの教育的意義

音楽指導の中で……「ドミソ」の和音を美しく作るためには実は細かい調整が必要です。「ピッチ」を調整することでより美しい和音を奏でることができます。仲の良い並びの音はそれなりに響きますが、隣同士の音はぶつかることがあります。しかしピッチを調整することで思いがけない響きが生まれることもあります。人間関係も同様、自分自身の身の振り方で誰とでも溶け込めるような人間作りができるようになることを、音楽はさりげなく教えてくれているような気がします。

究極の集団演技「マーチング」……80名が同じ間隔(インターバル、ディスタンス)を保ちながら動く、同じ拍数で歩く、同じアクションをする……。一人のミスが大会では命取りになります。その中で培われるのが「連帯感」「責任感」です。一人が欠けてもいけないチームプレー。マーチングの最大の魅力は「全員がレギュラー」ということでしょう。メンバー一人一人が主演です。こんな大人数のチームプレー、なかなかあるものではありません。

本校のスタイル 「小学生らしさ」「美しい音楽」

Simple is best わかりやすさ、世代を超えて理解できる曲、構成を目指しています。しかし、指導陣はいつも自分との戦いでした。「美しさを求めれば迫力不足と思われないか」「旗がないことや左右対称のドリルフォーメーションが簡単に見えてしまわないか」でも2年連続日本一の実績から「これでいい」「これがいい」「これしかない」に変わっていきました。基礎基本を大切に作るスタイルが評価されたことはこの上ない喜びでした。こだわりを貫くことの大切さを知りました。「真似できそうでできない演技」なのです。

指導スタッフ

本校の指導スタッフはすべて私の先輩や同級生、または音楽関係で知り合った仲間たちです。本来、こういった音楽の世界では講師に対し「編曲料」「ドリルデザイン料」「指導料」が発生しますが、身内スタッフのお蔭でボランティアで参加していただいています。「プロの講師を使わないで全国に行く事は可能か?」スタッフは研修に励みました。様々な演奏会に出向いたり、ビデオやDVDを観たり……。素人講

4月は雑誌月間です

師陣のパワーは強大です。前任校で培った指導方針は水海道小学校を初年度から全国大会の舞台に押し上げました。苦手を得意にするプロセスは辛い事の方が多いのですが、「子供が好き」「音楽が好き」という思いがあれば何とかなるものだと感じました。達成したときの喜びは大変大きなものとなりました。優れた人材は実はすぐそばにいます。築き上げた人脈とネットワークは私の宝です。

今の子どもたち 「自己中心」「運動嫌い」「ゲーム大好き」「学力重視」……

現代の子どもたちは人付き合いが苦手です。核家族化、放課後の塾通いなど、多くの人とふれ合う機会が少ないことなども理由に挙げられるでしょう。共働きの多い現在、一人の時間をゲームやビデオで過ごす子供たち。完全週5日制の導入は、受け入れ先の無い子供たちの「居場所作り」が整備されないまま実施された感があります。子どもたちは本来いつの時もキラキラ輝いているべきです。学校の特色作りも叫ばれている今だからこそ校内の活動や生涯学習活動を活性化させる必要があると考えます。子どもは「スポンジ」無限の吸収力と力をもっているのです。「子どもたちの笑顔を大人が奪ってはならない」

伝えたいこと 「夢は追いかけるものではなく、つかむもの」

夢を持つ人は努力を惜しみません。全国大会に行きたい子どもたちは時間を惜しんで練習に励みます。塾の日程を変えてでも、みんなのために時間を作ります。熱があっても練習に参加しようといえます。そこに「夢」があるから……。夢を実現できた時、大きな自信となるはずですが。泣き笑いしながら過ごした日々は消して平坦なものばかりではありません。夢に向かって親子共々みんなが夢中になれるマーチング。子どもたちは様々な体験を通して大きく成長するのです。

「努力のあとに感動、喜び、そして自信」

さいごに

教師の仕事相手は「人間そのもの」です。人間形成における大切な発達段階の子どもたちの成長には様々な「体験」が必要です。大人からのアドバイス、子どもたち同士のふれあい、先輩後輩の関係などなど、体験の中から学ぶものは大変多いのです。人間同士のつきあいが疎遠になりつつある現在、子どもたちの健全な育成に必要なのは「子どもたちの活躍の場を作り、広げる」ことであると考えます。それができるのは子どもたちを取り囲む私たち大人であると思います。本校の校歌に「みんな励んで日本の立派な柱となる日まで希望に輝き伸びていく……」という歌詞があります。水海道の子どもたちが立派な日本の柱となれるよう、応援していきたいと思えます。

No music No life



4月は雑誌月間です



出席報告 (染谷正美委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク	出席率
47名	32名	15名	0名	6名	80.85%

ニコニコボックス (登坂 寛SAA)

入金計 ￥47,000 累計 ￥1,796,000

誕生祝御礼 会員 鈴木(豊)会員 配偶者 秋田・染谷(正) 各会員

4月は雑誌月間です。皆様私のように本を読みましょう！隅屋会員に褒められました。松村会員残り3ヶ月となりさびしくなってきました。皆様のご協力ありがとうございます。青木(正)会員

4月になり松村年度もあと3ヶ月になりました。大串会員

今月も宜しくお願い致します。島田会員

3人目の孫が小学校へ入学いたしました。松坂会員

アルコールを4日抜いてみました。お蔭で胃腸が快適になりました。鈴木先生、卓話宜しくお願いします。

石塚(克)会員

鈴木先生ようこそお出でくださいました。昨日からまたモモヒキをはき始めました。武藤会員

鈴木先生よろしくお願ひします。染谷(秀)会員

鈴木忠雄先生、ようこそ！！本日は海小金管バンド思う存分PRして下さいネ。北村(英)会員

鈴木忠雄先生、ようこそ！「海小金管バンド」連続日本一、素晴らしいです！穂戸田会員

新入行員が3名入行いたしました。先週欠席いたしました。関根会員

休みが続きまして。斎藤会員

例会欠席しました。山野井・染谷(昭) 各会員

鈴木忠雄先生、宜しくお願いします。登坂会員

隅屋会員に息子が褒められました。皆葉会員

会報委員会 委員長 角田雅宣 副委員長 北村 仁 委員 山崎善市

4月は雑誌月間です

環境問題を考える

環境という言葉は、私たちそれぞれに違ったものを思い起こさせます。ある人は緑に覆われた森林、大草原、それに山並みを、またある人は草原や野生生物たちのことを考えるでしょう。私たちが環境的な挑戦に思いをはせるとき、リサイクルだとかエネルギーの節減、産業廃棄物や気象の変化について考えるかもしれません。私たちは問題を、自分自身の個人的な問題ではなく、はるかに大きいものとしてとらえる傾向があり、非常に抽象的なものとして、見ることもあります。

世界中の家族に影響を及ぼす環境問題

しかし、私たち一人ひとりにとって、環境とは、文字通り私たちが息をする空気、飲む水、歩く地面のように、自分たちを取り巻いているものなのです。私たちの環境とは、家であり、庭であり、道なのです。地域社会であり、国であり、惑星なのです。何百マイルも離れたところの清らかな水の流れは、私たちの蛇口につながっています。遠くの街のきれいな空気が私たちの肺に入り、何らかの影響を与えます。そして、私たちの車、煙突、発電所から排出されるものは、私たち自身の家族だけでなく、次世代の世界中の家族に影響を及ぼします。環境問題はまさに地域的なものであると同時に、完全に地球規模の問題でもあるのです。ゴミでいっぱい川の流れは、飲み水をその川に頼っている人々に最も大きな影響を及ぼしますが、生態系そのものを損ねます。公害のひどい街は、その街の住民だけでなく、風下の遠く離れた人々の健康をも同様に蝕みます。気象変化について学習し、理解を深めるほど、地域的な解決策など存在しないことを、私たちははっきりと認識するようになります。私たちがすることのすべてはほかにも関連しているのです。

小さな変化が大きな変化を生む

私たちが環境問題への取り組みとして、何をしたいのか、何を变えたいのかを考える際、私たちの決定が、決して私たち自身にかかわるだけのものではないことを覚えておかなければなりません。

ロータリーで学ぶことの一つは、一人の人間でも変えることができるということです。私たちはクラブで、地区で、特にポリオ・プラスを通じて、そのことを見てきています。私たちがほんのわずかの人々を援助するだけの小さなプロジェクトで働いては、自分たちがどれだけ世界を変えつつあるのかを客観的に知ることは困難です。

一枚の新聞紙や一つのプラスチック容器のリサイクル、車に乗らずに歩く、節水といった行動が、どのくらいより良く、どのくらいより健康的な将来をもたらすことができるかを知るのは難しいかもしれませんが、でも、もし多くの人々がそれを一緒に行えば、そういった小さな変化が、私たちの子どもや孫の時代には大きな変化を生み出すことになるでしょう。

実例を示し先頭を切る

ロータリアンとして、私たちは、個人的な、個々の選択に基づく小さな変化が、すばらしい何かへと積み上げられていく現実をよく知っています。私たちが行う決定は小さなことのように思えるかもしれませんが、でも、そんなものではないのです。私は皆さん方一人ひとりにそのことを心に留めておいていただきたいのです。というのは、あなた方は地域社会のリーダーだからです。よりよい未来のため「率先しよう」という活動を助けるために選ばれているからなのです。

環境責任に関しても、より健康的な明日をもたらす選択肢をつくりあげるといふ実例を示すことで、私たちはほかの問題と同様に、先頭を切らなければならないのです。

WILLIAM B. BOYD
PRESIDENT, ROTARY INTERNATIONAL